

## ツルネ東稜～権現岳 山行報告

【山 域】 八ヶ岳連峰

【ルート】 東沢大橋Pーツルネ東陵ー権現岳

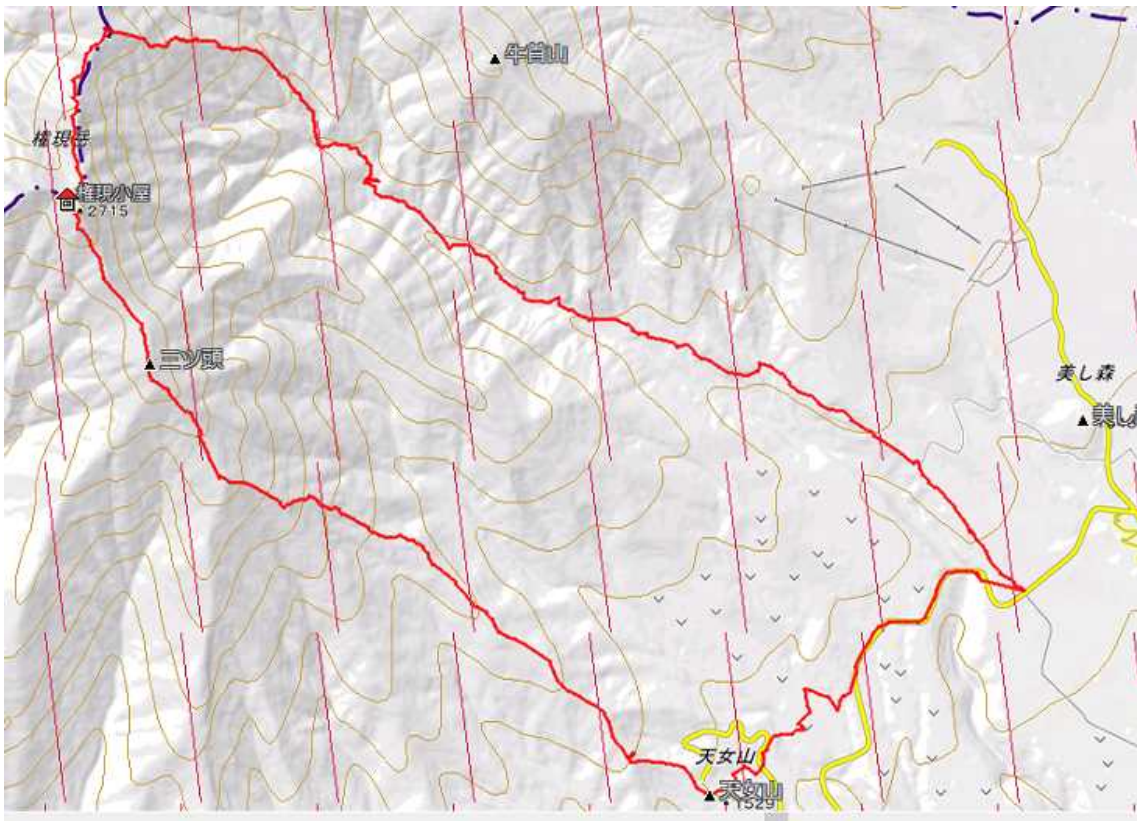
【登山方法】 ハイキング

【日程】 2019年6月9日(日)

【参加者】 CL佐藤(健) 小宮山(記録)

【行 程】

6:00 東沢大橋 Pー林道ー地獄谷 8:30 出合小屋ーツルネ東陵ー10:30 ツルネー12:00 権現岳  
ー13:00 三ツ頭ー14:30 天の河原ー15:00 天女山登山口ー遊歩道ー15:45 東沢大橋 P



### 【内容】

トレーニングの為に、また、自立的な山行ができるように、佐藤 CLにお付き合いいただき、ツルネ山行を計画した(してもらった。この時点ですでに自立的でないが許してください)。

道の駅きよさとで仮眠し、4時起床、東沢大橋に移動し、6時に登山を開始する。天気予報は曇り～回復だったが、雲の動きが遅いのかシトシトの雨。ツルネ到着時の天候で権現岳まで行くかツルネピストンにするか検討することになる。



出発！まだ元気 当然ですが…



入口

今日は先頭を歩かせてもらう。いつも人の後ろばかりで道を見ていないので、まずはここから…。出合小屋までは沢筋に進む。バリエーションルートだが、ピンクリボンや岩の印があり迷うことはなさそうだ、と思ったらピンクリボンを見失ったりして後ろの天の声(佐藤 CL)「右に(リボン)あるよ。」「石が丸くなってる(踏みあと)でしょ。」に助けられながら進む。ん～日頃いかに道や周りを見ていないか痛感する。

出合小屋まで徒渉を繰り返す(10回以上)。記録をみるといつも水はあまりないようだが、今日は雨の為それよりは多いようだ。でも問題なく石の上を渡れる位。でもでもバランスを崩し片足を水にいれたりする…。堰も同じくらい登場する。梯子等がかけてあったり巻いて登ったりした。

8:30 出合小屋に到着する。トイレが小屋とは別に作ってあった。土間に煙突ストーブ、座敷に毛布やちゃぶ台があり出会いノート？が置いてあった。九州など遠方からも来るようだ。「(人が)出合うから出合小屋なのかなあ…」とノートを読みながら神妙な面持ちの佐藤 CL。誰か(または何か)と出会いたいのでしょうか。



屋外トイレ



煙突ストーブ付の小屋 居心地いいです



河原の印

一休み後出発。沢から離れ、尾根の取り付きを目指す。2回「ツルネ東稜」の標識があっ

た(そうだ)。1回しか記憶にない、すみません、。2回目の標識のところから尾根に入る。

徐々に急登、やせた尾根になる。細い道1本分くらいの幅だが、木の根や岩が階段状になっており、手掛かり・足場には困らない。両脇も木が生い茂り高度感も少なく、淡々と、でもゼーハーしながら進む(後ろから「息も絶え絶えだね…(^^;)」と天の声が)。雪がつくと怖そう。



1回目の道標



じゃじゃん♪天の声の主

10:30 ツルネに到着。開けて広くなっており「ここはツルネ」の標識がある。気が付くと雨は止んでいる。雨か霧かわからない感じの空気だが、濡れていない地面が出てきた為、権現岳に行くこととする。

稜線の道は歩きやすく快適だ。噂の61段梯子が出てくる。思ったより寝ているので安心した。でも濡れている為慎重に行かなければ滑りそうで怖い。一步一步ゆっくり進む。途中で数回休まなければ登れなかった。長い。



12:00 権現岳に到着！岩のてっぺんに行つて標識と剣？で記念撮影。展望はないが雨は降っていないので、のんびり休憩できた。梯子のあたりでカップル1組に会った他は人はいない。天女山側から登って権現岳・旭岳のピストンの様だった。

13:00 三ツ頭へ進む。道は快適で、晴れていたなら眺めがよさそう。周りが見えないが、それなりに楽しく進む。後ろの天の声から分岐やら近くの小屋などの説明が入

ったが、頭の容量がいっぱいになっていたようで、あまり覚えていません、すみません。

そうこうしているうちに前三ツ頭へ。ココからどンドン下る。途中、左への曲がり角を見失い、右の間違った道へ入ってしまった。佐藤 CLが気が付き復帰したが、自分では気が付

けなかった。ぼんやり歩いている自分。

下りは一気に下る。一気に過ぎてあまり記憶がない…。14:30 天の河原で数人のグループに会った。登山？キャンプ？小休止して残りあと少しに挑む。

15:00 天女山登山口に到着。ココから遊歩道や牧場を抜ける。標高が降りるにつれて、また雨がシトシト降ってきた。雨の為か牛さんたちの姿は見え、黙々と牧場を歩く。遊歩道も意外にアップダウンがあり結構長く感じた。山の中を歩くよりも疲れる感じがするのはなぜでしょうか。

15:45 東沢大橋 P に到着。ルートを確認しながら歩くのは大変で、心身披露した(気が付けない割には疲れが大きい…)。また、雨の中を歩いて装備等見直す箇所に気づいた。グローブが脱ぎにくいとか、他のものが濡れないように必要なものを出すとか。

雨の中、お付き合いいただいた佐藤 CL、本当にありがとうございました。少しずつですが、自主的に登る練習をしたいと思います。



山はまだ春半ばでした。

小宮山